

2021年11月27日

勉強会第30講

きっかけ

夕張りリゾートホールディング社所有施設



年に莫大な電気費用が発生

使用電力量---2,383,541kwh(2019年) 使用電気料金---約8240万円(2019年)



～地域形成～コンパクトシティ構想①

炭鉱の坑口ごとに分散的にまちを形成

↓

人口減少

↓

まちの機能が維持困難

人口減少を前提に、およそ20年後を見据え、都市行政コストを低減させ、持続可能なまちづくりを目指して、南北軸を中心に都市構造を集約する**コンパクトシティ化**を進めている。

～地域形成～コンパクトシティ構想②

まちづくりマスタープラン・立地適正化計画

拠点地区 (若菜、清水沢、紅葉山)
暮らしを支える機能・生活利便性を向上

- 【若菜地区】
 - ・医療・介護等・コミュニティの拠点づくり
- 【清水沢地区】
 - ・生活利便機能の集積・子育て環境の強化
- 【紅葉山地区】
 - ・交流・関係人口の拡大・地域資源・魅力の発信
- 【居住環境】
 - ・多様な住宅の整備による誘導 など

地域再編地区 (本庁、南部、真谷地、根・登川)
安心して暮らし続けられる地域づくり

- ・生活サービスの補完・地域コミュニティの維持
- ・災害危険性への対応・良好な住環境の維持 など

生産地区 (富野・沼ノ沢・滝ノ上)
産業を支える生産機能の維持・強化

- ・生産空間の維持・保全・産業立地の促進
- ・地域コミュニティの維持 など

14

